

「一人一人が街の登場人物になる」を理念に、映像・街づくり・教育の力で地域活性化を牽引する団体です。全国の中学教科書にも掲載された実践を活かし地域の物語を次世代の文化へ繋ぐ持続可能なコミュニティ創出を支援します。

**CONTACT**

瀧口 寿彦 (Toshihiko Takiguchi)  
TAMA-BASE 代表 クリエイティブ・ディレクター

TEL 090-3960-4911  
Mail city@tama-base.com  
Web https://www.tama-base.com/

PR・報活動  
映像制作  
地域活性化イベント  
地域巡り・観光  
Creative Director  
映像作家 × まちづくりプロデューサー  
「すべての活動は、『物語』を紡ぐために。」  
ファシリテーター  
環境保全  
コミ

**「地域の物語」を、次世代の文化へ。**

映像 × 街づくり × 教育 の統合プロデューサー

TAMA-BASE 代表 瀧口 寿彦

累計学習者数 (10年間)

**1,200** 万人

**120** 万人  
年間学習者数

**10,000** 校  
採用中学校数

中学社会  
**地理的分野**  
(日本文教出版)

掲載単元:「ニュータウンの課題と再生をめざす取り組み」

掲載期間:  
2025年～2035年  
(10年間継続掲載)

日本の未来を担う世代が、あなたの街の事例を学ぶ

**瀧口 寿彦 プロフィール (実績・活動歴)**

1995

2020

2025～2035

映画『さらさら』  
映像監督デビュー

以降、TV-CM、ショートフィルム、TV番組、MV等、商業映像を多数制作。演出家としてのキャリアをスタート。

主なクライアント

トヨタ自動車 amazon  
宝くじ スターバックスコーヒ  
Panasonic 日本テレビ  
フジテレビ テレビ東京  
松下政経塾 他多数

東京都多摩市市制施行50周年  
「TAMA-BASE」実行委員長 就任

オンラインを活用した新しい市民参加型文化祭事業をプロデュース。視聴者数2万人超。参加市民団体50以上。7時間生配信。

全国、海外のNHK番組で特集され、(国内視聴率12%獲得)

「映像でつづる50の物語」として市民50人のドキュメント映像を制作・配信。

中学社会地理教科書に掲載 (日本文教出版) 教育・公的評価

上記の実践活動が「ニュータウンの課題と再生」のモデルケースとして採用。

今後10年間、全国の中学生が学ぶ教材となる。

**あなたの地域・組織に提供できる「共創」メニュー**

**1. 「地域の物語」を可視化・資産化する映像プロデュース**

プロの演出力で心を打つドキュメンタリー・エンタメへ昇華。一過性でない「ストック資産」として納品。

- 具体例
- ・地域ブランディング映像
  - ・企業・学校の理念ムービー
  - ・市民参加型ドキュメンタリー

- 企画・構成
- 演出・ディレクション
- 資産価値の創出

**2. 市民と創る「持続可能な地域文化」プロジェクト・プロデュース**

市民同士が物語を共有する「持続可能なコミュニティ文化」を設計。複雑な利害をまとめる「ハブ(事務局)」として牽引。

- 具体例
- ・大規模市民参加型事業の企画・運営
  - ・ニュータウン・団地再生プロジェクト
  - ・産官学民連携の仕組みづくり

- 官民連携
- コミュニティ形成
- 縦割り打破の実務

**3. 「次世代の地域プレイヤー」を育む教育・ワークショップ**

教科書掲載の実践知をもとに「生きた探究学習」を提供。映像制作で「主権者意識(シビックプライド)」を育む。

- 具体例
- ・学校向け探究学習
  - ・地域連携プログラム
  - ・自治体職員・教員向け研修
  - ・市民参加型映像ワークショップ

- 主権者教育
- 教科書実践モデル
- 人材・組織開発

**4. 官民横断プロジェクト 伴走型アドバイザー(顧問)**

組織の壁を外側視点で突破。資金調達からメディアPRまで、上流工程から伴走支援。

- 具体例
- ・新規プロジェクトの座組・予算設計
  - ・地域ブランディング戦略コンサル
  - ・メディア露出戦略

- 戦略立案
- 資金調達・補助金活用
- メディアPR戦略

**街は「人の物語」で出来ている。**

これまで25年以上にわたり、映像ディレクターとしてテレビCMや番組を作り、心を動かす表現を追求してきました。その中で時代を超えて残るコンテンツは、作られたフィクションではなく「本物の人生物語」であるということでした。

故郷である多摩ニュータウンに戻り、16万人を巻き込んだ50周年事業の実行委員長を務めました。そして、その取り組みが全国の中学社会科教科書に掲載されるという光栄な機会をいただきました。

そこで確信したのは、地域の本当の価値は、立派なハコモノ(施設)を作ることではなく、「そこに生きる一人ひとりの物語をすくい上げ、交わせ、次世代へ手渡すこと」だという事実です。

少子高齢化や地域の分断が叫ばれる今だからこそ、私は「映像」と「プロジェクト」の力を使って、地域にお互いの物語を知り、認め合う「文化」を創りたい。

高齢者を課題ではなく「まちの宝」として描き出し、子どもたちが誇りを持てる生きた教育の場を創りたいと考えています。

貴組織が抱える課題に寄り添い、共に汗をかき、100年先の未来に残る「新しい文化」を創り上げるパートナーでありたいと願っています。

ぜひ一度、貴組織のビジョンや課題をお聞かせください。

次の素晴らしい物語を、ご一緒できる日を楽しみにしております。